

保護者会	小学校統合についての意向(概要)	保護者会	小学校統合についての意向(概要)
岸本小学校	今後の状況を考えれば、やむを得ないという意見が約7割。	ふたば保育所	今後の状況を考えれば、やむを得ない。専門的に検討された教育委員会の案でよいと思う。子どもたちはすぐに順応する。
二部小学校	心情的には統合には向かいたくないが、今後の状況を考えればやむを得ないと考える。	こしき保育所	今後の状況を考えれば、統合実施計画案のとおり、小学校統合をすることはやむを得ない。統合することは、子どもたちにとっては友達が増えることであり、良いことだと思う。
日光小学校	心情的には統合には向かいたくないが、今後の児童数の推移を考えればやむを得ないと考える。	あさひ保育所	統合して、ある程度の規模の中での教育を望む意見と、現状の人数でよいという意見が拮抗している。
八郷小学校	複式学級の可能性がなくなったので、今の状況では統合すべきでない。現状より少人数化すれば、統合はやむを得ない。	溝口保育所	学校統合実施計画案に賛成。計画案より早い統合がよい。
溝口小学校	今後の状況を考えれば、統合実施計画案のとおり、小学校統合を進めていくべき。大人の考えも大事だが、子どもたちの学校であることを一番に考えて話を進めていくべき。	二部保育所	統合して、ある程度の規模の中での教育を望む意見と、地域との関わりなどから、統合に向かいたくないという意見が拮抗している。



よりよい教育環境を目指して

小学校統合について保護者の意向と今後の方向性

6月定例町議会で協議の結果、「伯耆町学校統合実施計画(案)」の、学校統合の時期を修正しました。その結果を受け、7、10月にかけて各小学校・保育所の保護者のみなさんと小学校統合についての協議を重ね、各保護者の意向を取りまとめましたので、概要をご紹介します。

学校統合実施計画(案)

1. 学校配置の基本方針

- 1学級20~25人程度の規模が維持でき、1学年複数学級編制が可能な規模を目標とする。
- 学校統合にあたっては、「新しい学校創り」を基本とする。

2. 小学校統合の時期

修正前	溝口地域の小学校統合は、平成25年頃を目標に実施する。 岸本地域の小学校統合は、平成28年頃を目標に実施する。
修正後	新しい小学校配置の完成は、平成28年頃を目標とする。

1. 統合についての意向

保護者のみなさんの多くは、今後の少子化の状況などを考えると、小学校統合はやむを得ない状況と考えています。しかし、ある程度の規模の中での教育を望む声が多い反面、現在の少人数

の教育や地域との連携を大切にした教育の継続を望む声も少なくありません。また、小学校統合に向けて、各校区保護者間に意識の差があることを課題とするご意向がたくさんありました。

2. 統合の時期

- ・現小学校が大事にしている教育内容が、統合小学校に引き継げる体制が整ってから。
- ・現状より、更に少子化になるまで待つべき。
- ・子どもたちは、一緒に学べることを楽しみにしている。早い方がよい。
- ・統合前から保護者の交流を進め、新しい学校創りに向かう保護者の意識を高めたい。

3. 小学校統合に向けての課題

- ・吸収する、吸収されるといったイメージを払拭すること
- ・校区により、保護者の統合に対する意識に差があること
- ・通学距離が長くなることでの児童の負担軽減策
- ・統合する学校の良い部分を融合させ、今まで以上に子どもたちに良い経験させたい。

4. 今後の方向性

教育委員会では、さらに意見交換を行い、統合へ向けた解決すべき課題を洗い出したいと思えます。そして、できる限り早期に、新しい学校創りのための各学校の特色の継承や、通学バス、学校の後利用などの課題について、部署を越えて協議したいと考えます。

伯耆町の将来を見据えた、子どもたちのための、より効果の高い教育環境づくりとしての『小学校統合』について、十分な協議をしていきたいと考えます。